

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570300531		
法人名	上越老人福祉協会		
事業所名	グループホーム宝寿の家		
所在地	上越市平成町339		
自己評価作成日	令和5年9月30日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=1570300531-00&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和5年10月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○地域との交流とつながり
感染予防のためコロナ禍前のように利用者と行事に参加することはできていないが、秋祭りにはテラス近くまで子供神輿が来てくれたり、敬老会にはお饅頭が届けられる、不要になったオムツを寄付してもらうなど気にかけてもらっている。施設としても広報を回覧してもらい、側溝清掃に参加し顔合わせする、賽の神にお神酒を届けるなど、いま出来ることを事業所として行い、地域との交流も継続している。

○一人ひとりの思いに寄り添う支援
「利用者が自分らしく心安らぐ居場所になるよう」職員は見守っている。居室やリビングは明るく、日差しがたっぷり入りゆったりとした時間が流れている。利用者は掃除や洗濯たため、食事の下ごしらえなど役割を持ち馴染みの生活が続けられており、職員は会話の中で聴き取った要望に応えるべく、季節の食材を使ったメニューや室内で出来る行事やレクリエーションを考えたり、利用者の思いや気づきを共有することで介護計画にも活かしている。

○日々の暮らしを続けるための支援
利用者が体調を崩さず安心して生活が継続できるように、食事を楽しむ工夫を実践している。事業所の畑を利用し、季節の野菜を植え、収穫する喜びや、職員が畑で採れた野菜をメニューに取り入れ、1人ひとりに合わせた食事形態や量も考慮し提供している。また、職員は日々の暮らしの中で利用者の笑顔を引き出すことを大切にしており、現在の状態を写真付きの手紙にして利用者の家族へ現況報告を行っている。日々の当たり前の生活を施設で長く暮らせるよう利用者の状態観察を行い、職員全員が同じ方向性を持ち支援に当たっている。